

令和7年度 豊明市児童館指定管理者審査委員会議事要旨

日時：令和7年10月16日（木）

午後1時30分～5時

場所：豊明市役所 本館3階 会議室1

※敬称略

出席委員： 加藤 雪絵、野村 治子、南 寿樹、熊木 智子、岡 裕香、
萩原 啓一、外山 美香、浅井 俊一、塚本 由佳

欠席委員： 伊藤 正弘

事務局： 松村 清子(子育て支援課長)、倉品 知史(同課児童係担当係長)、
柴田 英治(同課児童係主査)
中世古 靖貴(学校教育課放課後育成係担当係長)

指定管理者： 株式会社セリオ、株式会社日本保育サービス、株式会社ポピンズエ
デュケア

1 あいさつ

健康福祉部長より

2 委員の委嘱

全委員に委嘱状交付

3 委員長・副委員長の選任

委員の互選により南委員を委員長に選任した。

委員長の指名により塚本委員を副委員長に選任した。

4 議題

(1) 豊明市児童館指定管理の概要について

資料に沿って事務局より説明

(2) 令和6年度モニタリングレポート（年次評価）について

【株式会社セリオ：大宮児童館】

指定管理者及び事務局より令和6年度のモニタリングに基づき、年次評価について説明。萩原委員より経営状況の分析結果について報告。

<質疑・意見等>

- (委員) インスタグラムを開設したことについて、どのように告知していますか。児童館だよりに載っているのでしょうか。
- (指定管理者) 児童館だよりに二次元バーコードが掲載されていますので、そこから利用していただくことができます。
- (副委員長) 他の児童館と合同事業を実施する中で気づきがあったということでしたが、具体的にどのような気づきがあったのか、また、今後活かしていきたいことがありましたら、教えてください。
- (指定管理者) これまで、活動の様子を収めた写真は保護者の方の承諾を得た上でホームページに掲載していましたが、館内掲示はしていませんでした。しかし、他の児童館で館内掲示をしているところがありまして、保護者の方にとってもわかりやすいのかなと感じました。そこで、今年度から行事写真を掲示するようにしました。保護者の方も喜んで見てくださっています。
- (委員) 前年度と比べて利用者が減少したということで、どの年代が特に減ったのかといった分析はされていますか。
- (指定管理者) 幼児親子さんの利用が少なかったのかなとは思いますが、逆に、今年度は幼児親子さんの利用は増えていまして、驚いているところです。
- (委員) 小学生以上の利用者数の変化は、それほどでもないということでしょうか。
- (指定管理者) 中学生の利用は昨年度は多かったのですが、今年度はあまり利用はありません。どちらかというと、児童館に来てくれる中学生は話し相手がほしいという子が多いという印象で、その子たちが来なくなったということは、児童館職員としては、どこかで自分の居場所ができて、友達もできたのかなと良い方にも解釈しています。去年遊びに来てくれていた中学生と児童館の近くでたまにすれ違ったりしたときに声をかけると、部活で忙しいと教えてくれたりするので、部活を頑張っているのだなと嬉しく感じます。
- また、開館時間が17時までというところは、なかなか中学生・高校生には利用が難しいのかなと思っています。17時以降も開いていれば来やすいのかなと思っています。
- 小学生の方は、児童クラブを併設している関係で、児童クラブの子の利用がほとんどで、その友達が遊びに来たりはしていますが、去年と大きく変わるようなところはないです。
- (委員長) 以前、不登校だったり、引きこもりだった子が話を聞ってくれる場所として児童館を認識してくれているというエピソードを知って、とても印象的でした。そのような子たちが自立したり、居場

所を見つけるということはとても嬉しいことではある反面、利用者数の減少という点でB評価になってしまうというところですね。

(指定管理者) 他の児童館やカラットといった、開館時間が長い施設を利用しているのかなと思います。

(委 員) 事務局に聞きたいのですが、全館平均で利用者数が減っているということについて、今、指定管理者様がおっしゃっているような傾向で下がっているのかどうかという点と、今年度はまた増えているという現状について、分析していることはありますか。

(事 務 局) 指定管理者には毎月利用者数を報告してもらっていて、今年度前半期の利用者数は増加傾向にあります。昨年度の減少の傾向は、小学生でなく乳幼児の利用が大きく減っているというところがありまして、その理由としては、保育園などを活用していただいた関係で結果的に利用が減っているのではないかと考えています。

また、児童クラブの利用者数は年々増えています。児童館の来館者数の集計には児童クラブの利用者は計上されていないので、児童クラブとしての利用者が増えていることは、児童館の利用者数の減少の大きな要因になっているのかなと考えています。

(事 務 局) 全体の利用者数が減っているというところでは、他の館の話にはなりますが、昨年度ひまわり児童館で改修工事を実施した関係で、そこの利用者数は年間で4,000人弱減っています。減少率としては一番大きいものですから、全体として見るとそこが一番の要因かなと思っています。

(委 員) 機械的に、B評価が一つでもあると区分評価もB評価となってしまうというところで、全体の傾向としてそもそも減っているのに、利用者数が減少しているからB評価となってしまうのはどうなのかなと思ったのですが、その点については最終の総合評価で配慮していただいた方が良いのかなと思いました。

(委 員) 登録制の親子教室の利用が減ったということで、具体的な周知についてどのようにされたのか教えてください。

(指定管理者) 広報への掲載と館内掲示を行いました。昨年度は、当初は6組の登録がありましたが、そのうち3組が満3歳で幼稚園に入られて、最後は3組が残ったという形です。4館合同で親子教室を開催したときも、当館の登録者数が一番多いというような状況で、4館合同で実施しても10組程度の参加でした。

以前は、当館だと20組の参加があった頃もありましたので、女性の社会進出が進んでお母さん方の就労が早くなったり、幼稚園も満3歳児の受入体制が整ったりして、児童館の親子教室を利用する方が少なくなったのではないかなと思っています。

(事 務 局) 補足させていただきますと、登録制の2歳児以上の親子教室については、登録制だと利用の際のハードルが高いのではないかと

うことで、今年度から自由にご参加いただける形に切り換えておりますので、ご承知おきください。

<モニタリングレポートコメント意見>

(委員長) 広報に記事を掲載したり館内に掲示したりといったことをやられている状況ではありますが、もう少し手を入れられるところがあるのではないかとこの点を加筆した方が良いと思います。

(委員) 年次評価がBになった理由について、やはり「幼児の利用が減少したため」ということの記載がないと何が課題なのかがわかりにくいのかなと思いますので、評価の内容に、幼児の利用が減ったという一文があった方が良いのではないかと思います。

(事務局) 今ご意見いただきました、業務履行の確認についてB評価となった理由を記載することと、総合評価のコメントの部分で、ブログやインスタグラムを活用して情報発信を行ってはいけるものの、さらなる工夫が求められるという点を追記させていただきます。委員会終了後に、委員の皆様にご意見を議事要旨などをお送りするときに、修正案をご確認いただきまして、ご意見があれば教えていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員長) 皆様、よろしいですか。

一同了承

(委員長) それでは、そのように進めていただきたいと思います。総合評価の審査委員会としてのコメントについては、委員の皆様のご意見をもとに、事務局にて文書を整えたものを後日送付していただきますので、ご確認ください。

【株式会社日本保育サービス：中央児童館、北部児童館】

指定管理者及び事務局より令和6年度のモニタリングに基づき、年次評価について説明。萩原委員より経営状況の分析結果について報告。

<質疑・意見等>

(委員) 中央児童館・北部児童館ともに、市の評価では、書類の提出が遅れたと記載がありますが、どのような内容のものなのか、また、遅れの程度がどれくらいであったのか、重要書類の提出が遅れたのか、状況を教えてください。

(事務局) 毎月、各館の利用者数などの状況について翌月10日までに報告をお願いしておりますが、その提出が期限までになされず、市からご連絡して遅れて提出していただいたというような形です。

(委員長) どの程度の遅れだったのでしょうか。

(事務局) 年明けに何度か市からご請求しましたが、年明け以降の報告が年度末頃に提出されたということで、最大で3ヶ月程度の遅れがございました。

- (委 員) それはどのような原因だったのでしょうか。
- (指定管理者) 提出書類の遅れに関しまして、昨年度の後期は、令和7年4月から新たに当社が運営を開始しました南部児童館並びに他の児童館についての事業者間の引継業務を、私が担当しておりました。この月次報告書類については、施設から私宛に届きまして、その中身を私が精査した上で市へ提出するというフローになっておりましたが、その中で、引継業務が煩雑になってきたということが重なりまして、月次報告書類の提出が遅れてしまったという状況でございます。
- こちらにつきましては、所管課の方からもご指示をいただきまして、フローの見直しをさせていただきました。現在は、私を通さずに担当スタッフが全館分の月報や集計表について間違いがないかチェックしまして、期日どおりに提出するということでフローを直させていただきましたので、今後はこのような遅れがないように努めてまいります。
- (委 員 長) 評価として、B評価がひとつでもあると区分評価がBになってしまいます。せっかくSが増えてもBがあると評価も下がってしまいますので、その点をご理解いただいて、業務についても改善するべきところは改善していただければと思います。
- (事 務 局) 補足させていただきますと、先ほど指定管理者様がおっしゃられましたとおり、今年度に入ってから改善案もご提出いただきまして、きちんと対応していただいております。
- (委 員) 北部児童館の令和6年度の前半期で、利用者の減少率が11.7%ということですが、原因について思い当たることはありますか。
- (指定管理者) 前年度につきましては、魅力向上に繋がるイベントがしっかりできていなかったというところで、反省をしております。今年度は、新たに中高生タイムも始まりましたとか、利用者ニーズを聞いて新しいイベントもどんどん取り組んでおりまして、利用者が増えているというところではございます。
- (委 員) 中央児童館は増加している一方で、北部児童館は減少しているということで、開きがかなり大きいと思うのですが、イベントの内容に大きな差があるのでしょうか。
- (指定管理者) 中央児童館と北部児童館では、毎日実施している行事が若干異なっておりまして、中央児童館の場合は、毎日いつ来ても手形アートができるというイベントを実施しているのですが、その反響が非常に大きかったと考えております。北部児童館についても、今後同様の行事を展開できればいいなと思っているのですが、令和6年度に関しましては、統一して実施ができていなかったというところで、この乖離が出ていると考えております。
- (委 員) eスポーツの取組やドローンといったように、子どもにとって楽しそうなイベントがたくさんありますが、子どもたちの興味がありそうなイベントを実施してみて、利用者の増加に繋がったとい

う感触はありますか。

(指定管理者) 子どもたちの声を聞いてイベントに繋げていまして、子どもたちが友達をさらに呼んできてくれたりしています。毎月開催しているのですが、参加者が10名程度いますので、大変人気の高いイベントとなっております。どうしても家だと長時間ゲームをやっ
てしまいがちということがあると思うのですが、児童館ですと30分までというルールを決めて職員も見守っていますので、保護者の方からも安心できるというお声をいただいています。

(委 員) 待ち時間もあるのですか。

(指定管理者) 利用が多いときは待ち時間ができますので、その場合は別の部屋でトランプで遊ぶ等して待ってもらって、交代しながら遊んでいます。

(委 員) 北部児童館のつなはぐ会というのは、いつ頃から始められたのでしょうか。

(指定管理者) 令和6年2月から始めました。これまで近隣の方との繋がりを持つことができていなかったというところがありました。やはり児童館というのは地域の方と連携して子どもたちを見守っていくということが大切なことですので、地域の方に働きかけてボランティアを募りましたところ、3名の方が登録していただきまして、毎月児童館のイベントに参加していただいております。その中で来てくださった方がマジックを披露してくださったりして、地域の方と良い関係性ができて、地域ぐるみで子育てができていますという実感を持つことができています。

(委 員) 北部児童館のeスポーツについて、中央児童館など他の児童館に展開していくということも考えていらっしゃるでしょうか。

(指定管理者) 今後、中央児童館でも取り入れていきたいと考えております。

(委 員) それは、どちらかという日本保育サービス様の中で全体的な雰囲気です。そのような感じになっているということでしょうか。

(指定管理者) 豊明市様で今弊社が運営させていただいている児童館においては、順次導入させていただいて、横並びで交流を深められるようにしていけたらというふうに思っておりますし、先ほどお話が出ましたつなはぐ会の方でも、地域の方々が参加していただけているという状況ですので、その中でも子どもたちとご高齢の方々が一緒にゲームを通じて交流を図ることができるという機会も、今後創設していけたらと思っていますところ。

(委 員) 保護者としては、1日の中でゲームやスマホの上限時間を決めているご家庭もあると思います。児童館でeスポーツをして、どこか別の場所でもeスポーツをして、家でも遊んで、さらにスマホも使ってということになる状況もあるということも知っていただけたらいいかなと、一保護者としては思います。eスポーツ自体はみんなで遊ぶものですし、高齢者の方とかも繋がることのできる、とても良いものだとは思っています。

- (委員長) 児童館だけの問題ではなくて、1日の生活全体を見るような形で考えていただけたら良いのかなと思いますが、ただ、取組としては、それによって子どもたちが家に引きこもるのではなくて、外で集まるといったような効果があるのではないかなと思います。
- (委員) 北部児童館のモニタリングチェックシートの中で、「愛知県内の児童館とリモートで繋いでイベントを実施した」という記載がありますが、具体的にどこの児童館と実施したのでしょうか。
- (指定管理者) 市内では、中央児童館と北部児童館を繋ぎました。その他、尾張旭市と津島市で弊社が運営している施設がございますので、それらの施設と繋いで実施しました。

<モニタリングレポートコメント意見>

- (委員) 中央児童館・北部児童館が、県内の他の児童館とリモートで繋いで事業を実施したという取組は非常に面白いと思いますので、その部分の記載があれば良いと感じました。
- (事務局) 先駆的な取組といったところで、リモートで県内他市の児童館を繋いで行事を実施したというところを付け加えさせていただきます。
- (委員長) よろしいでしょうか。
- 一同了承
- (委員長) それでは、以上のような内容で進めていただきたいと思います。総合評価の審査委員会としてのコメントについては、委員の皆様のご意見をもとに、事務局にて文書を整えたものを後日送付させていただきますので、ご確認ください。

【株式会社ポピンズエデュケア：南部児童館、西部児童館、ひまわり児童館、コスモス児童館】

指定管理者及び事務局より令和6年度のモニタリングに基づき、年次評価について説明。萩原委員より経営状況の分析結果について報告。

<質疑・意見等>

- (委員) 南部児童館の前期の利用者減については、トイレの改修工事が原因であると考えられるということでしたが、その改修自体はいつ頃終わったのでしょうか。後期の減少についても同様の理由が考えられるのでしょうか。
- (指定管理者) トイレ改修工事は令和6年3月から8月頃まで実施していました。後期の減少率については、南部児童館に限らないことかもしれないですが、コロナ禍以降、児童館での遊び以外の選択肢が広がったということが大きな原因の1つなのではないかなと推測しております。もちろん、コスモス児童館などは利用者数が増えているところもありますが、利用者の方のお声を聞いたりします

と、いろいろなところでイベントが開催されるようになったりして、遊びの選択肢が広がっているというお話も伺っております。

(指定管理者) 南部児童館だけで見ると確かに利用児童数の減少という点はネガティブな数字であるしれないのですが、豊明市様全体で見ていく必要があるのではないかと考えています。そういった中で、非常に魅力的な施設が豊明市様の中にあると思っています。確かに、一度離れてしまうとまた戻ってきってくれるというよりは、その離れた期間にお子様が新しい遊び先を見つけて、そこを活用されたりというところがあると思います。市全体で見ると、子どもたちの行き先、これは単純に遊び場ということだけではなくて、場合によってはエスケープ先ということもあるかもしれないですが、そのような場所が増えているところはあるのかなと思っています。

その中で、我々ができることとしては、きちんと行事をいろいろなバリエーションで実施していくというところかなと思いますので、そこは原点に立ち返って、きちんと行事の中身や種類を利用者目線に立ったものでやっていきたいと考えながら、昨年度の後半期の事業を実施してまいりました。

(委員長) ポピンズエデュケア様全体としての経理上の特別損失というものは、職員の方の処遇改善をされたということと関連しますか。

(指定管理者) 特別損失に関しましては、あくまで弊社の全体の数字でございます。特別損失として計上していますのは、長野県の施設であったりとか、千葉県施設などの分です。豊明市の施設において何か特別損失があったということではございません。

(委員長) 4館について、モニタリングチェックシートに、前期・後期ともに赤字収支であったという記載があるのは、職員の方の処遇改善を行ったため、という理解で良いのでしょうか。

(指定管理者) おっしゃるとおりです。認可保育園の話になりますが、人事院勧告という形で人件費の改定率10.7%という数字がございましたが、これに近い数字を、認可保育園だけではなく、弊社の運営している他の施設の職員にも還元していきたいというところがございましたので、その部分に対して、一部を利益から持ち出しをしたというところがございました。

(委員) 人件費の増加ということだと、今年度以降、赤字収支に関して計画的にクリアされていくものなののでしょうか。

(指定管理者) 一度上げた給料をまた下げるという選択肢はございません。そうではなくて、むしろきちんと上げていきたいと考えております。そういう意味では、人件費としては年々右肩上がりにはなってくるだろうという試算をしております。

運営の持続性というところでいくと、私どもは選択と集中であるかなと思っています。具体的に申しますと、豊明市様の方でも、昨年までは南部児童館、西部児童館、ひまわり児童館、コスモス児童館を運営させていただいていたのですが、今年度からはコス

モス児童館のみの運営ということで、絞っての運営をさせていただいています。それは、いただく委託費という部分もございますし、職員がいろいろな事情で抜けてしまいますと、費用的なものも追加でかかってきますし、何より職員が疲弊してしまうところでは、悪いスパイラルになってしまうというリスクはあるだろうと思っています。そういう意味では、職員がきちんと安定して働いてもらうというところが、中長期的に見て、全体の収支の回復に繋がっていくだろうと見立てているという状況です。また、良いか悪いかは別にして、非常勤職員の比重が多いという状況で運営していくという方法もあるかと思いますが、弊社としては最高水準のサービスを提供したいというところがありますので、そういった意味では、人というのはまさにサービスの質に繋がります。なかなか容易に単価の低い人を雇っていくというところは、選択肢としては難しいと考えております。

(委 員) 西部児童館も築年数が古い施設かなと思いますが、トイレは問題なく使用できているのでしょうか。

(指定管理者) ドアの建付けが悪くなったりですとか、タイルにちょっとひびが入っていたりということはあるのですが、使用に関しての不具合や、利用者様からの苦情や修繕のご依頼は承ってはおりません。

(委 員) 西部児童館の後半期の業務の履行確認の部分で、指定管理者の自己評価のところで、課題点として「施設の老朽化に伴い、空調設備の不良などがあり、過ごしやすい環境を提供するのが難しい」という記載がありますが、冬季に利用者数が減というのは空調があまり効かなくて部屋が寒いと感じていらっしゃる方が多いというようなことはありますか。

(指定管理者) エアコンについては、寒さというよりは、どちらかというと暑さの部分の方が気にかかっているところではあります。下半期というと、10月から3月ではあるのですが、やはり10月・11月もまだまだ暑い日が続くというところで、数年前に修理をしてもまた壊れて、というところがありました。

ただ、ご利用者様からそのようなご意見は伺ってはおりません。どこの児童館もアンケートに書いてあったのは、遊戯室の床が冷たいというご意見でした。床暖房が主流になっている中で、特に幼児親子さんからのご意見としては、遊戯室の床がちょっと冷たいのが残念ですというお声は、どこの施設でもお聞きしています。座ってイベントをするという場合にはシート等を敷くのですが、広いところでちょっとした小さな車で移動させたいとか、走り回りたいというようなときには、ケガに繋がってしまうという心配の方が高くなってしまうので、通常時にシートを敷くということはしていません。

(委 員 長) そのような改修工事の費用負担も指定管理者様に、ということになるのでしょうか。

(事 務 局) 昨年度までの協定につきましては、年間30万円までは費用とし

て認めて、それ以上につきましては見積もりをとっていただきご提案いただいた上で、協議の上で市の方で実施するという形になっております。

なお、西部児童館は図書室の空調の効きが悪いということで、昨年度ご意見をいただきまして、昨年度中の対応は難しかったのですが、今年度は修繕の方が完了しておりますのでご承知おきください。

(委 員) コスモス児童館で、病院搬送が必要なケガが年間3件くらい起きているということで、大事には至っていないとは思いますが、少し気になります。

(指定管理者) どのケースも大事には至っておりません。
子どもが泣きやまなかったりすると、もしかしたら骨折しているのではないかという視点に立ちます。看護師のような専門の職員がいるわけではないので、念のために、もちろん保護者様にご了承いただいた上で搬送するというパターンもあります。職員だけで判断しかねる場合はクリニックに連れて行くというのは、児童館に限らず、弊社の施設はそのような対応をとっています。

(委 員 長) その場合は、保護者に連れていってもらえるのですか。それとも職員が付き添うのでしょうか。

(指定管理者) 一般利用のお子様だったりすると、連絡がつけば大人の方に来てもらって連れていっていただくことはありますが、児童クラブの場合は親御さんがお仕事されていると、途中で来てくださる方もいらっしゃると思いますが、どうしてもそれが難しい場合は、待っていて様態が急変しても大変なことになってしまいますので、職員が連れていきます。

(指定管理者) 弊社は事故やケガ対応のマニュアルを作っておりまして、それに従って受診対応していくというところがございますので、もしかすると小学生だと、その程度で受診しなくても良いのでは、というケースがほとんどではあるかなとは思いますが、マニュアルに従って受診をしてもらうというところでやっています。その後、ケガの種類とインシデントレベルで分別して、個別でカンファレンスをしていきます。一定以上は、弊社が運営している全国340あまりの施設全体で共有とカンファレンスをするのですが、実際にそこまで至っているケースはこの3件の中にはないです。施設内での共有とカンファレンスをしたというレベルのケガという形でございます。

(指定管理者) コスモス児童館の遊戯室が一番広いものですから、ダイナミックな遊びができるという点もあるのかもしれませんが。

(委 員) 事業収支がマイナスというところで、そのような状態であれば、例えば、この次に市から募集があった場合はもう指定管理業務に応募しないのでしょうか。

(指定管理者) 非常に難しい判断ではないかなと思います。事実の部分で申しま

すと、まさに今年、西部児童館、南部児童館、ひまわり児童館に関しては、私どもは受託を継続しないという判断をいたしました。ただ、世の中の的には「小一の壁」という問題があって、実際に学童クラブを弊社が新規で立ち上げをして運営をさせていただいている地域もございますので、地域のニーズの部分と、いただける管理料の部分とのバランスということにはなるかなと思いますが、もちろんいただける委託費だけではなくて、ハード面・環境面を整えるということも、利用者にとっても、働く従業員にとっても非常に大切なポイントであると、私どもは考えております。どうしても年数を重ねるというのは致し方ない部分はあるとは思いますが、震災のリスクというのもこの地域にはありますので、そういったところからも安心して従業員が働けて初めてサービスの質に繋がると思っております。そういった意味での選択と集中というのは、現在、弊社が行っているところでございます。それらの条件が、きちんと私どもの中で大丈夫だということであれば、むしろ増やしていきたいと思っております。

<モニタリングレポートコメント意見>

(委 員) 南部児童館について、年次評価Bは利用者数の減少の部分が影響していると思っておりますので、「安全管理に務めた」の後に一文があった方が良いのかなと思います

(事 務 局) 年次評価報告書の業務の履行確認がB評価となっている理由として、利用者の減少がございますので、その内容を追記させていただきます。

西部児童館も、南部児童館と同様に、業務の履行確認のところのB評価の理由として、利用者の減少の件を追記させていただきます。

(委 員 長) ひまわり児童館について、利用者が減少したがその背景に改修工事があったというふうに具体的に書いておいた方がわかりやすいかなというのと、夏休みの取組・イベントが非常に評価されたということを書いても良いかなと思います。工夫を重ねたことがイベントを成功させたということだと思いますので。

(事 務 局) それでは、「改修工事が行われる中で」のところに、「工事の影響を受けて利用者が減少した」という一文を加えさせていただきます。また、下段の「創意工夫を重ねた企画力」のところの前の方に、具体例として夏休みのイベント等のことを追記させていただきます。

(委 員) 事業収支について、コスモス児童館は単体で収支報告が出されていて、南部・西部・ひまわりと相殺しないのかどうかという点について疑問に思いました。

(事 務 局) こちらは、もともと指定管理として、南部と西部とひまわりの3館を指定管理としてご応募いただいていたというところから、コスモス児童館はまた別で公募したという形だったものから、収支報告も別立てという形になっています。市の予算の

確保の関係があるものですから。

他の指定管理者様だと本部経費を計上することで黒字としているところもあり、一方でポピンズエデュケア様は本部経費としては計上していないという状況です。おそらく、企業側の計上の仕方といたしますか、本部経費も込みで収支のバランスを見ているのと、もともと本部経費はなしで見ているというところの違いがございます。

(事務局) 施設ごとですので、一般的な決算書とは違う報告の仕方になっているのですが、おそらくポピンズエデュケア様の場合は本部経費等を含めた上で各費目に充てていただいているものだと思います。本部経費を含める指定管理者様ですと、現場でかかった経費と、本社で要した部分の費用を切り分けているために、このような記載になっているのかなと思います。

(委員長) 非常に難しい問題だと思います。児童館の収支だけで見れば赤字ではあります。そのことを評価するのか、財務分析の結果のとおりに会社全体が黒字だからそれで良いのではないかとするのか、どちらで捉えるかだと思います。

従業員のことを守ったり、丁寧な対応もされていきました。それがあの中で、赤字収支になったことがマイナス評価に繋がるというのは矛盾があるように思います。サービスは向上しているはずなのに、その分持ち出しの費用が増えることになった結果赤字になり、評価が逆にAではなくてBになるという事実は矛盾です。そのことを年次評価に記載するのかどうか。私は企業努力だと思います。ABCという評価になると、確かに赤字はB評価になってしまうかもしれません。そうだけれども、子どもたちや親御さんにとっては安心感に繋がっていてS評価であるとも言えます。会社が費用を持ち出しで負担してくれてサービスをしてくれているのですから。このバランスが非常に難しいと思います。

(事務局) この指定管理者審査委員会におけるモニタリングのシートは、事業収支は黒字になっているかどうかで評価するという形にはなっています。ただ、今、担当者の中ではこれでいいのかどうかということで、内容の見直しを考えているところではあります。そう言いますのも、他の指定管理施設ですと、貸館業務をやっていたりしてそこで集客があればそれだけ収入が増えるというところで、黒字かどうかという点を測ることになっています。そのために、指定管理者には一生懸命利用してもらえようような努力をしていただくというところなのですが、児童館の場合は利用者の方からはお金をいただきませんので、おっしゃるとおり、この項目自体が児童館にはあまりそぐわないのではないかとこのところはあります。

このモニタリングチェックシートを使って、令和6年度は事業を実施してきましたので、大変申し訳ないのですが、この段階で遡って変えることはできません。ただし、それ以降に向けては、今改善を考えていますので、実際には令和8年度にはなりますが、

それに向けて書きぶりは工夫してまいります。ただし、B評価自体は変えられないというところがございます。

(委 員) 指定管理者様のお話ですと、コスモス児童館のマイナス部分はそれほどの規模ではないと判断して現在の事業を続けていらっしゃるのかなと思いました。そのようなことであれば、B評価にする必要はないのではないか、という疑問を持ちました。

(委 員 長) 先ほどのお話で感動したのは、ケガが発生したときに普通だったら保護者を呼んで「病院に連れて行ってください」とするのですが、そうではなくて、スタッフがついて受診をするということでした。指定管理者にとっては絶対に持ち出しになります。その分手薄になった部分を補充する必要があるのですから。

(副委員長) 今、保育園でもやはりこういったことはよくありまして、事故とかそういったことがあったり、もしケガをされたりということがありますと、ほぼ保育士が病院に連れていくという流れがあります。そこで、児童クラブの場合は、保育園でやられていたことが引き継がれないとなかなかやりにくくなっているという実情もあるかと思います。親御さんも働いていらっしゃる中では、すぐに病院には駆けつけられないというところで今のようなご対応をしていただいているのかなというふうには思います。

(事 務 局) 項目に対して当てはめていますので、なかなか実態と合わない評価になってしまうところもありますけども、それも含めて総合評価はA評価とさせていただいておりますので、ご承知おきいただければと思います。

(委 員 長) 課題はありますが、令和6年度については今までの基準で評価をするということです。4館の文面についてはこれまでのお話どおりでよろしいでしょうか。

一同了承

(委 員 長) 総合評価の審査委員会としてのコメントについては、委員の皆様のご意見をもとに、事務局にて文書を整えたものを後日送付していただきますので、ご確認ください。

5 報告事項

(1) 令和2年度から6年度までの児童館指定管理業務について

資料に沿って事務局より説明

(2) 令和7年度以降の児童館の方針について

資料に沿って事務局より説明

6 その他

事務局より、本日の議事要旨及びコメント修正案についての確認依頼とホーム

ページへの掲載を説明

以上